

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789 「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

まんすりー 全旅連情報

発行日：平成26年7月1日

定 価：150円

発行人：清澤正人

印 刷：山陽印刷株式会社

- | | | | |
|-------------------------|---|--------------------------|---|
| 第92回全旅連全国大会inみやぎ開催 | 1 | 第2回全旅連財務委員会開催/「ハローキティキャン | 6 |
| 全旅連青年部が45周年記念大会開催 | 3 | ペン」のお知らせ/省庁だより | |
| 平成26年度全旅連理事会・通常総会開催 | 4 | 全旅連会議開催/経営ワンポイントアドバイス | 7 |
| 第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告 | 5 | 全旅連協定商社会名簿 | 8 |

第92回全旅連全国大会inみやぎ開催

大会テーマ・Evolution of Miyagi
—更なる進化を目指して走り出そう—

全旅連は6月4日、第92回全国大会の式典を宮城県仙台市の電力ホールで、また大懇親会を隣接する江陽グランドホテルで開催した。「更なる進化を目指して走り出そう」の大会テーマのもと、全国からの組合員はじめ全旅連関係者など1200人が参集。「旅館ホテル業の更なる進化を目指すため、同業同士が相集い団結の絆を強め、全国業界の総力を結集し、以て所期の目的を達成するため邁進する」とする大会宣言と「これが速やかなる実現に向け邁進する」とした11項目にわたる決議を採択した。

佐藤勘三郎大会実行委員長（宮城県理事長）が開会のあいさつを述べ「3年前は非常時の渦中にあり、経営を断念せざるを得ないと心に決めていた経営者も少なくなかった。あらゆる面で気持ちが深く沈んでしまっていた時に肩を叩き、寄り添ってくださったのが全国の同業者の皆さんでした。あの温かい支援のメッセージや復旧のための物資の数々が私たちに勇気を奮い立たせ、大きな力を与えてくれました」と語ると、会場からは大きな拍手が湧き起った。佐藤理事長は「ありがとうございます」と会釈で応えながら言葉を続け「今、このように皆さまをお迎えできたことに大変な喜びと誇りを感じています。どうぞ、見たもの、聞いたもの、感じたものを全国の皆さまにお伝えください。それがまた、私たちにとってさらなる進化を目指すことに繋がるからであります」と述べた。

続いてあいさつした佐藤会長は、宮城県はじめ東北の震災から前進する力強さに敬意を表したあと、実現となっ



全国大会は多くの来賓や組合員を迎え仙台市の電力ホールで開催された



あいさつする佐藤会長、佐藤大会実行委員長と祝辞を述べる来賓のみなさん。左上から依田課長、村井知事、藤本仙台市副市長、竹下自民党組織運動本部長、高階観議連事務局長、長谷川東北運輸局長

た、価格転嫁を可能とする消費税の外税化や減税につながった旅館ホテル業界のみ対象の固定資産評価の見直し、今後さらに続く改正耐震改修促進法への対応について語った。また大会参加者に配布された冊子『命をつなぐ「おもてなし」』について触れ、「これはいかに旅館ホテルが東日本大震災での被災者を避難所として受け入れたかなどを綴ったものであり、公における宿泊施設のあり方を記したものである」と述べ、理解と協力を求めた。さらに「全旅連もまた業界を取り巻く諸問題には真正面から対峙し、しっかりと直視して対応していく所存だ」と語り、会場から大きな拍手を受けた。

次いで、多くの来賓を代表して厚生労働大臣代理の依田泰厚生労働省健康局生活衛生課長、村井嘉浩宮城県知事、仙台市長代理の藤本章副市長、竹下亘自由民主党



全国からの組合員が式典会場を埋めつくした



各賞を代表して受賞する左から有村隆徳、村山正博、川越清文のみなさん



「人に優しい」賞で厚生労働大臣賞を受賞した気沼市のホテル望洋（加藤社長）



大会宣言・決議文を読み上げる中山松村両理事長と万歳三唱の発声を務める一條氏



「人に優しい」賞で主な賞を受賞した左上から新潟県の岩室温泉旅館組合、静岡県組合、栃木県組合青年部



被災地三県の理事長による復興決意表明



次回開催地となる佐賀県のみなさん

組織運動本部長、高階恵美子自由民主党観光産業振興議員連盟事務局長、そして、長谷川伸一東北運輸局長の諸氏が祝辞を述べた。続いて福祉基金の贈呈と祝電の披露のあと、旅館業および組合活動に対し功労・功績のあった人たちを表彰する表彰式に移り、厚生労働省健康局長表彰（14名）、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状（32名）、永年勤続功労者に対する全旅連会長永年勤続表彰（52名）の受賞者が次々に読み上げられ、それぞれを代表して登壇した有村隆徳（熊本県）、村山正博（新潟県）、川越清文（宮崎県）の各氏に表彰状と副賞としての記念品が贈られた。また、第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」の表彰では、厚生労働大臣賞のホテル望洋（宮城県）、全旅連会長賞の岩室温泉旅館組合（新潟県）、選考委員会賞の静岡県組合の子どもに安全・安心な温泉入浴推進事業ワーキンググループ、観光経済新聞社社長賞の栃木県組合青年部らがそれぞれ登壇し表彰を受けた。そしてスクリーンでじゃらん賞、全旅連シルバスター部会長賞、優秀賞の各受賞者が発表された。

続いて、中山青森県理事長と松村秋田県理事長が読み上げた大会宣言と決議を採択。このあと、宮城県内で被災した旅館ホテルの経営者が、困難に直面し

一堂に会しての大懇親会・賑わった協賛業者等の展示会



盛大に催された大懇親会（江陽グラインドホテルで）



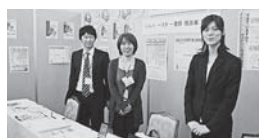
あいさつする観光庁の石原観光産業課長。下は戦国時代の英雄をテーマとしたアートラクション



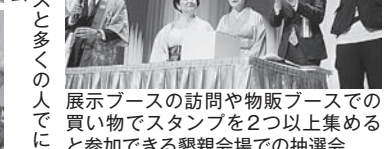
ステージで繰り広げられるアートラクションに記入の来賓たち。下は全旅連女性経営者の会（JKK）のみなさん



懇親会場での北海道、福島県、大阪府、大分のみなさん



全旅連のブースと多くの人で賑わった展示会



展示ブースの訪問や物販ブースでの買い物でスタンプを2つ以上集めると参加できる懇親会場での抽選会

ながらも復興へと立ち上がった姿をまとめた映像が上映（3頁に関連記事）されたほか、被災地三県の菅野、澤田、佐藤各組合理事長による復興決議表明が行われた。復興決意のシュプレヒコールはフレーフレーの掛け声で岩手、宮城、福島、東北、そして、全旅連のそれぞれに向けられ、会場からも力強いエールが送られた。式典は次期開催地発表（佐賀県）へと進み、最後に宮城県組合の一條常務理事の発声による万歳三唱で幕を下ろした。

復興へ進む姿をまとめた映像を上映

ホテル望洋 東日本大震災一次避難所として

気仙沼湾に面した港の高台に建つホテル望洋(加藤英一社長)は東日本大震災直後から避難民に施設を開放し、その後約70日間にわたり、一次避難所、物資供給所としての役割を果たした。大震災の当日は約100名、2日目は約150名の避難民を受け入れ、社長以下スタッフが一丸となって避難民の対応をした。社長は自らも津波によって自宅を流失し、当初



地震直後より避難所となったホテル望洋。ロビーには震災の記録が掲示されている。

は家族の安否も分からないまま避難所の管理運営者として行動し、滞在した人たちに対し思いやりのある行動を取り、人道支援を行った。映像では「食糧の備蓄もあり、また旅館に常備されている一人用の鍋コンロやカセットボンベなどアナログなもので危機を救うことができた」と当時の無我夢中での対応を振り返っている。(第17回「人に優しい」賞では、厚生労働大臣賞を受賞し、表彰状と副賞として賞金30万円が贈られた)

※詳しい内容については まんすりー 3月号(5頁)に掲載。

南三陸ホテル観洋 3.11からの記憶を通して伝えたいこと

南三陸町は震度6弱の揺れと最大20m以上の津波が襲来。被害状況は死者566名、行方不明者223名、建物被害3,311戸(全体の約60%が流失)。南三陸ホテル観洋の阿部憲子さんは「千年に一度の災害は千年に一度の学び場である」と述べ、ホテルスタッフと地元住民、ボランティアの人たちとともに歩んできた3.11からの記憶を伝えている。同館では自宅を津波で流されるなど自らも被災者となったホテルスタッフが、「語り部」となって当時の様子を伝えながら、南三陸の現状を見学する「語り部バス」を2012年2月



映像の中で語る阿部氏。下はホテルのロビーに設けられた3.11関連の写真集と被災した防災対策庁舎

からスタート。現在3万人以上の人に生の声を伝えている。「災害対策は、生き残ること。生き延びること。そして元の生活に戻すこと」と提言している。

全旅連青年部が45周年記念大会開催 先進性と共創力で未来を拓くとした大会宣言採択



全国大会式典閉会後に同会場で青年部創立45周年記念大会が開催された

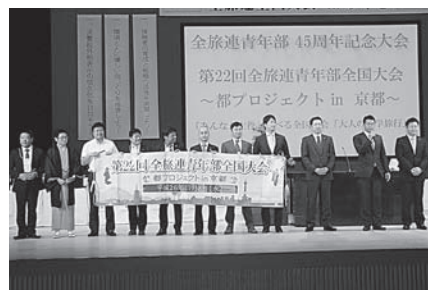


「即戦力の部隊」としてと語る山口部長。下は青年部に期待を寄せる佐藤会長と第3代部長の小田氏



全旅連青年部は、全旅連全国大会の中で、創立45周年記念大会を歴代青年部長はじめ、多くの青年部OB、都道府県青年部長や全国の青年部員の出席のもと開催し、「若者らしい先進性と団結した共創力で未来を拓いていく」とした大会宣言を行った。山口敦史青年部長は「脈々と続く歴史と伝統を礎としわれわれ現役世代がこうして青年部活動を行えることに幸せを感じている」とした上で、「業界はいま、政策的課題や流通課題、また有事の際の危機管理など問題も数多いが、青年部は即戦力部隊として業界発展のために寄与していく組織で進みたい」と語った。また活動の推進では、「東京オリンピックを控え、日本全体が国際観光推進の気運が高まる中、日本の宿文化の世界への発信は重要な事業の一つである」と述べた。

佐藤会長は「青年部のみなさんには夢のある旅館づくりに努めてもらいたい」、また歴代の青年部長を代表してあいさつした小田禎彦氏(第3代部長)は「地方が元気をだしていくためには、観光事業が頑張らなくてはならない」と述べ、青年部に強い期待を示した。



大会宣言を行う永井財務・組織担当副部長 左 上 10月、京都市勤業館「みやこめっせ」で開催される全国大会に意気込みをみせるみなさん。下 11来年2月に行われる第2回旅館甲子園(東京・国際展示場)の開催に向け力を込める担当委員たち



平成26年度全旅連理事会・通常総会開催

組織強化など盛る事業計画等推進へ

東日本大震災後の組合活動を総括した
『命をつなぐ「おもてなし」』を発刊

全旅連は6月3日、東日本大震災で多くの死者や行方不明者、また全体の60%という建物の流失を被るなど甚大な被害を受けた宮城県・南三陸町の南三陸ホテル観洋で、理事会と通常総会を開催した。理事会では、通常総会提出議題の平成25年度事業報告並びに収支決算報告及び監査報告、平成26年度事業計画案並びに収支予算案を審議し、これを承認。総会では、主にチェーンホテル一括入会についての審議が行われた。

冒頭、佐藤会長はあいさつの中で、全旅連の直面する問題について触れ「前年度は固定資産評価の見直し、衛経融資の小規模事業者の拡大、交際費の定額控除限度額の引き上げなど多くの要望を実現させることができたが、本年度もまた消費税外税表示の恒久化や改正耐震促進法の対応などをはじめ、取り組まなくてはならない課題を多く抱えている」と述べ、理解と協力を求めた。また、このほど発刊した冊子『命をつなぐ「おもてなし」』については「これは3.11のあと、県組合や個々の旅館ホテルがどのような活動をしたかをまとめたものであり、緊急時における『避難所』としての役割をもしっかりと果たしたことなどを記したものである」と述べ、熟読することを勧めた。

理事会における総会上程議案を全て承認。事業計画では「2020年東京オリンピック開催に併せての地域の活性化と新たな宿泊需要の喚起」「東日本大震災における旅館ホテルでの取り組みに関する総括」「JRホテル建設・進出問題についての具体的調整手順の周知と助言」、政策的課題への取組みと融資制度の改善を通して行う「消費税の外税表示の恒久化」「耐震改修促進法改正に関する対応」「レジャーホテル等を含むすべての組合員への融資の実現」などが新たに盛られた。また、平成26年度会費賦課金案(平成19年～25年度と同様)も承認された。

チェーンホテル一括入会についてNHK問題対策委員会の佐藤勘三郎委員長が現在大手チェーンホテルから入会の申し出を受けていることを報告し、契約内容については今後、申し出側と調整を図りながら詰めていく段取りを進めているとし、了承された。なお、NHK受信料組合取りまとめ支払参加率(平成26年3



理事会・総会では多く議案が審議され承認された
(南三陸ホテル観洋で)



全国大会の式典で全組合員に配布された冊子『命をつなぐ「おもてなし」』について語る佐藤会長



左から大会交付金を受ける佐藤宮城県理事長。平成27年度全国大会開催で歓迎の意を表する小原氏。監査報告する住友常任監事。専務理事就任のあいさつをする清澤氏

月末現在)は平均64.9%で80%超は6県となっている。

承認された役員の一部異動については次のとおり。副会長(北陸ブロック会長)＝八木眞一郎(福井県理事長)が退任、新たに安藤精孝氏(石川県理事長)。副会長(東京ブロック会長)＝今井明男氏が退任。新任に齋藤源久氏。常務理事＝新任に北堀篤氏(埼玉県組合新理事長)。常務理事＝中村嘉宏(青森県組合理事長)が退任、新任に中山大輔氏(〃)。常務理事＝太田信幸氏(福岡県組合理事長)が退任、新任に井上善博氏(〃)。専務理事＝新任に清澤正人氏。議事とされた平成26年度全国大会開催(宮城県)と平成27年度の全国大会開催地(佐賀県、6月上旬を予定)を承認後、報告事項へと移り、耐震診断義務付け対象である大規模な旅館・ホテルに対する耐震診断・改修への補助制度の概要、シルバースター登録状況、NHK受信料組合取りまとめ支払参加率(平成26年3月末現在)、全旅連協定商社会名簿などが報告された。

引き続き開催された全国旅館ホテル事業協同組合の総代会では、平成25年度事業報告並びに決算関係書類承認及び監査報告、平成26年度事業計画案並びに収支予算案及び平成26年度借入金残高の最高限度額決定、平成26年度経費の賦課徴収方法決定、平成26年度役員報酬決定などの議案が審議され、全てが承認された。

第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長賞：岩室温泉旅館組合（新潟県）

視察対象事業：日本一暮らしやすい温泉地をめざして

～観光施設をコアにした住民×観光でつくる地域横断型共創イベントの実施～

経緯と実績

一羽の雁が温泉で傷をいやしていたことが発祥の由来とされる岩室温泉（新潟市）は、新潟県のほぼ中央、北国街道沿いに位置している。越後一の宮でもある弥彦神社参拝者の宿場として、また「新潟市の奥座敷」として栄えてきた。

岩室温泉旅館組合では、開湯300年となる平成25年を迎えるにあたり、青年部を中心に、これからの地域の方向性を議論した。住民がみな「住みやすい」と口をそろえることにヒントを得た新たなコンセプトは「日本一暮らしやすい温泉地」である。岩室温泉はこれを指針として、それまで別々に考えられてきた「地域活性化」と「観光」を融合する試みを推進してきた。

その活動拠点となっているのが、市町村合併を機に平成22年春に誕生した市の観光拠点施設「いわむろや」である。いわむろやは、地元住民・観光業者・商店主で組織された「NPO法人いわむろや」が市の指定管理を受けて運営にあたっており、それまで地域住民が行ってきた活動をベースに、「地域の元気が観光資源！」というテーマを掲げてアイデアを出し合い、実にさまざまな事業を実施してきている。例えば、そば打ちや門松づくりなど住民が講師役をつとめる体験講座「なりわいの匠」、ミュージシャンに手弁当で演奏してもらう若者向けイベント「イワムロック」、公民館活動からスタートしたまちあるきガイド「いわむろ案内人」などである。

平成25年には、開湯300年を記念した「湯くみ行列」や、楽しみながら家族が温泉街をめぐる「ミステリーツアー」、岩室で撮影された映画の上映と岩室にちなんだ歌や踊りを住民に知ってもらう「岩室づくし」、耕作放棄地を活用して憩いの場にする「菜の花プロジェクト」、地元の小学生に温泉旅館の仕事を体験してもらう「温育」などが実施され、本年も「いわむろほっとキャンパス」として、地域住民がもつ技術を活かした、子どもから大人まで一緒に楽しめる数多くの体験プログラムが、年間を通じて予定されている。



地元の人が先生となる「いわむろほっとキャンパス」の様子

評価

岩室温泉では、古民家再生や、平成15年以来継続している武蔵野美術大学との協働イベント「アートサイト岩室」をはじめ、さまざまな取り組みが進行しつつある。住民を巻き込んだ活動を基本としてきたことで、かつては「イベントは旅館の集客のためのもの」と他人事であった住民がイベントに積極的に参加するようになり、「何もない」と言っていた住民の意識も変化しつつあるという。長期的な視点にたって足元の資源（「宝」）を見つめ直して共通の目標を掲げ、住民とともに行動することの大切さ、そしてそれらの活動を支える人材育成の重要性。拠点施設も、そうしたソフト面のエネルギーがあって生きてくるのであり、知恵を出し合って着実に成果を挙げてきた岩室温泉旅館組合の取り組みから学ぶことは多い。

「日本一暮らしやすい温泉地」岩室温泉は、人を育てて種を撒き続け、次の300年につながる仕掛けを考え続け、日々進化している。これからの展開におおいに期待したい。



挨拶をする橋本委員長（奥右）、野澤新潟県組合理事長（奥左）、岩室温泉旅館組合の高島組合長（左3人目）と組合員の皆さん



「いわむろ案内人」によるまちあるきを体験

視察日：平成26年5月23日（金）

視察者：選考委員長 橋本俊哉

（立教大学観光学部教授）

第2回全旅連財務委員会開催

全旅連財務委員会(宮村耕資委員長)は、6月20日、26年度2回目となる委員会を開催し、今年度の委員会活動について協議を行った他、6月4日に行われた全旅連全国大会の展示会、広告協賛および26年度青年部活動に関しての報告がされた。また、同日に全旅連協定商社会入会審査会を開催し、新規入会申込のあった株式会社フジ医療器(マッサージチェア)の面談を行った。面談後の入会審査会にて協議した結果、7月16日開催の正副会長会議にて入会を諮ることとした。

「ハローキティキャンペーン」のお知らせ

全旅連では(株)サンリオとの共同で人気キャラクター「ハローキティ」デザインのオリジナルうちわ、プチャオルを使用した誘客キャンペーン(7月1日～8月31日)を実施する。昨年実施した誘客キャンペーンでは、多くの地域・組合員が参加し、お客様から喜びの声も聞こえたなど好評を得た。

現在、オリジナルうちわ、プチャオルの申し込みを受付中。

申込書は「宿ネット」の組合員専用ページに掲載。<http://www.yadonet.ne.jp/member/>



安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2～3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約1,000軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。



7月30日にシルバースター登録審査委員会開催!

- ◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
- ◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL:<http://www.yadonet.ne.jp/>
全旅連シルバースター部会公式サイト(人に優しい宿サイト)URL:<http://yadonet2.jp/>

省庁だより 輸出物品販売場(免税店)制度の改正《国税庁》

これまで訪日外国人旅行者のショッピングに関して免税販売の対象が家電製品や装飾品に限られていたが、輸出物品販売場制度が改正となり10月1日以降は食品類、飲料類、化粧品類、その他の消耗品類がその外国人旅行者に対する同一店舗における1日の販売額の合計が5千円超～50万円までの範囲内について免税販売の対象となる。

輸出物品販売場を開業しようとする事業者は、販売場ごとに、事業者の納税地を所轄する税務署長の許可を受ける必要がある。免税販売については全国の地方運輸局及び地方経済産業局において相談窓口を設けている。

また、外国人旅行者から「免税店がどこにあるか分からない」といった指摘もあることから、免税店の統一したシンボルマークを制定。申請方法は観光庁のHP(下記URL)に記載されている。

外国人旅行者向け消費税免税制度の改正について
http://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000098.html

省庁だより 旅館・ホテルに係る消防法令改正《消防庁》

～自動火災報知設備の設置が義務付け～

これまで、旅館・ホテル等における自動火災報知設備の設置の基準は、延べ面積300㎡以上だったが、一般住宅への住宅用火災警報器の設置や、小規模な宿泊施設での火災の発生状況等を考慮して、平成25年12月27日に、消防法令が改正され、全ての旅館・ホテルに、自動火災報知設備の設置が義務付けされた。

改正の施行日は、平成27年4月1日(新築の建物)。既存の建物等は平成30年3月31日までに設置が必要となった。



あなたの回答が、日本経済の力になる!

平成26年経済センサス-基礎調査
平成26年商業統計調査を実施します

- 調査票は平成26年6月末日までにお届けします。7月1日以降に提出をお願いします。
- ◆調査の意義・重要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いたします。

平成26年
7月1日
(火)

平成26年
経済センサス-基礎調査
商業統計調査

経済センサス 検査 商業統計調査 検査 <http://e-census-syougyo.stat.go.jp/>

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

全旅連会議開催

〔6月〕

3日(火)

- 全旅連理事会
- 全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合総代会
- 全国旅事業サービス(株)株主総会
於:南三陸ホテル観洋(宮城県南三陸町)

4日(水)

- 第92回全旅連全国大会 inみやぎ
- 全旅連青年部創立45周年記念大会
於:電力ホール・江陽グランドホテル(宮城県仙台市)

12日(木)

- 全旅連シルバースター部会幹部会

18日(水)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

20日(金)

- 全旅連財務委員会
- 全旅連協定商社会入会審査会

25日(水)

- 全旅連青年部常任理事会他
於:ひがきホテル(愛知県蒲郡市)

26日(木)

- 全旅連税制委員会

今後の予定

7月1日(火)

- 全旅連シルバースター部会幹部会

7月8日(火)

- 平成26年度全旅連シルバースター部会総代会

7月16日(水)

- 第2回全旅連正副会長会議

7月30日(水)

- 第55回全旅連シルバースター登録審査委員会

お知らせ

次号9月号の発行は9月1日となります。

今号は7・8月の合併号(7月1日発行)です。8月1日の発行はありません。予めお知らせ致します。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

リスクの無い安息の時

前回の本稿では「リスクマネジメント」の意味について触れた。今回は経営者にとってどのようなリスクが考えられるのかその重要な使命である「事業の継続と雇用の確保」の観点から具体的に考えてみたい。

①[災害リスク]

地震、大雨、台風、濁水など起こってしまうと取り返しがつかないもの。事業継続計画(Business continuity planning; BCP)などを作成し万全の準備が必要。

②[労務リスク]

雇用や労働条件に関する法的な準備を怠ることなく、社会保険労務士などの専門家とのつながりも重要。

③[食品リスク]

食中毒や偽装表示など多岐にわたる対策が必要。

④[金融リスク]

業況不振など債務者側の都合で起こるものだけではなく、金融再編など債権者側の都合で起こるものにも注意。

⑤[事業承継リスク]

後継者の不在や後継者教育の不調により事業の継続に赤信号が点灯する。事業譲渡などの対策をも考える必要がある。

主だったものだけでもこれらのリスクが存在する。①②③についてはリスク発生時の保険対応を細かく確実に講じることによりリスクを軽減できる可能性がある。また、④⑤については事業の継続を考える時には切り離すことができないものだ。経営者にとって安息の時は訪れないのか。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

全旅連協定商社紹介



キャンシステムは 宿泊施設の運営を 支援いたします!



インカム
システム



LED
照明



館内
コメント
放送

宿泊施設
向けBGM



業務改善
カメラ



デジタル
サイネージ

キャンシステム株式会社

〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1キャンシステム萩原ビル

TEL 03-5397-9446

WEB http://www.cansystem.co.jp/

暑中見舞い

暑さことのほか厳しい折柄 皆様のご健康をお祈り申し上げます。

取扱商品:

ペーパーレス宿帳入力機器



株式会社ワコム

〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1

住友不動産新宿グランドタワー31F

TEL: 03-5337-6706

全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュータンのメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社 部長 中野 秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 営業企画部 市場開発室 担当課長 古川 強志	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18階 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田 美仁	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 大野 雅矢	TEL 03-6835-6405 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂 博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎 裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-3381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルター事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-5-11 エネルギー開発部営業開発チーム 課長 和田 荘	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0033 東京都豊島区高田3-23-23 高田本部ビル8F 営業本部 法人営業部 主任 古内 隆宏	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
(株)エクシング	カラオケ機器(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 担当部長 田中 茂孝	TEL 0120-992-173 FAX 03-6848-8186
(株)まごのてライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 栗野 和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 主任 渡邊 典昭	TEL 03-5299-3491 FAX 03-5537-3471
AIU損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒151-0071 東京都渋谷区本町6-34-6 キャンシステム幡ヶ谷ビル2F 営業開発本部 関東地区直轄営業部 課長 照井 雄三	TEL 03-5358-8650 FAX 03-3377-2168
楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 トラベル事業 国内営業部 吉崎 弘記	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園 勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒700-0901 岡山県岡山市北区本町10-17 本町第一ビル 坪田 達摩	TEL 086-234-7343 FAX 086-234-7333
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムT L-リンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代 一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 マーケティング部VMGr.マネージャー 中達 隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
(株)アルバン	自動麻雀卓・イス・サイドテーブル等	〒164-0003 東京都中野区東中野2-1-2 営業部 須浦 正裕	TEL 03-3227-1190 FAX 03-3227-1150
(株)iJTB	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 るるぶトラベル販売部 営業推進担当部長 清水 隆	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
ヤフー(株)	Yahoo!トラベル 国内宿泊予約	〒107-6211 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー ショッピングカンパニー 事業推進本部 ビジネス開発部 リーダー 大辻 琢磨	TEL 03-6440-6732
近畿日本ツーリスト個人旅行(株)	宿泊予約サービスe宿(イーヤビ)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル 35F e宿泊事業部 営業推進グループ 鶴岡 潤一	TEL 03-6733-5110 FAX 03-6733-5353
推奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務統括部 参事 倉場 和紀

(平成26年6月1日現在)

家電製品はコジマの法人営業におまかせください!

省エネ

電気代値上げ対策や経費削減、施設の電気代削減をご提案!



顧客満足度向上

人気のエステ家電や空気清浄機など
宿泊施設の満足度向上をご提案!



安値世界への挑戦
コジマ

お電話または法人様向けホームページより
お気軽にお問い合わせください

コジマの法人営業

<http://www.kojima.net/business>

電話 03-6907-3116

受付時間 10:00~18:00
※土日祝はお休みです

新しいご提案をさせていただきます。



株式会社エクシング

〒105-0011

東京都港区芝公園2-4-1

TEL: 0120-992-173

担当: 田中・佐野・安西

芝パークビルB館8F

FAX: 03-6848-8186

JOYSOUND